

おおいずみしんでんかんきょうほぜんかい
大泉新田環境保全会（伊那市）

・組織の活動面積	A= 80.96 ha
・組織の構成員数	約 136 人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	大泉新田区・同西部土地改良区・同中井水利組合・小中学校PTA・子供育成会・消防団大泉新田班
-----	---

組織の概要

伊那市西箕輪の北部に位置し、経ヶ岳を背に天竜川河岸段丘に広がる標高800m前後の高原地帯であり、水田約7ha、畑約74haの活動面積となっている。畑作は、りんごを中心とした果樹栽培が盛んであり、野菜は、アスパラガス、スイートコーン、ブロッコリー、白ネギ栽培が基幹作物となっている。

年々農業後継者が減少するなかにあって、最近、果樹栽培農家の後継者並びに退職農業者が規模拡大に取り組んでいる他、アスパラガス栽培を新規に導入する後継者も複数現れている。

また、遊休・荒廃農地の発生防止の取組みに、構成員全員で取り組んでいる。

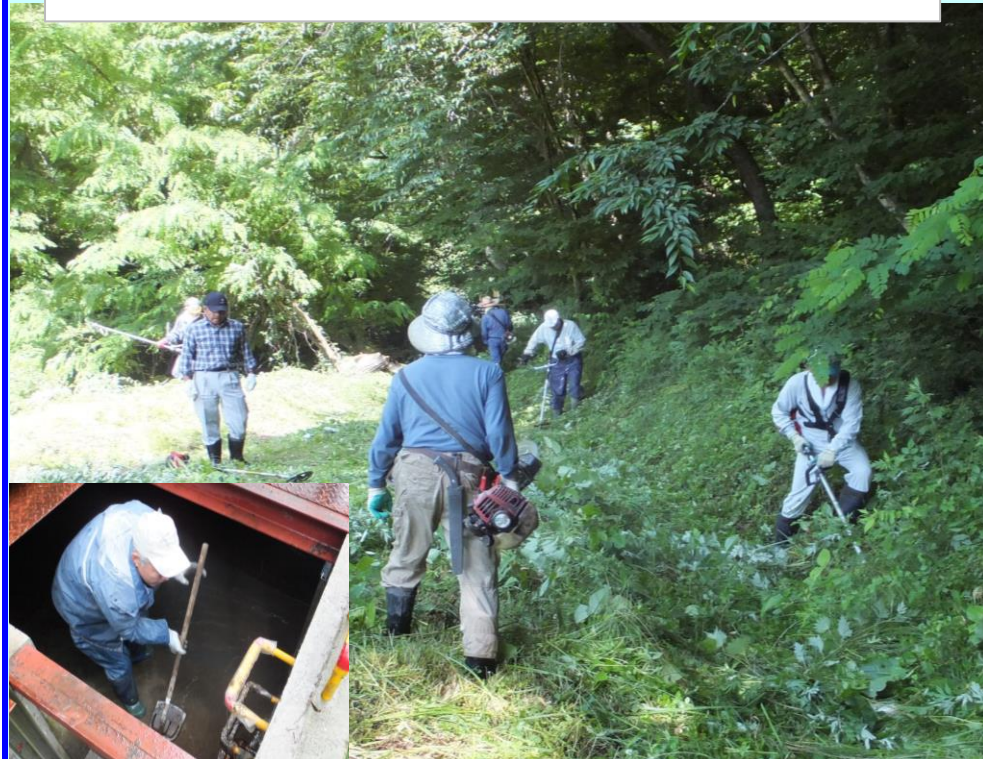
住みたいと言われる村の環境づくり みんなで守ろう未来のために！



毎年7月に環境保全会構成員100名以上が参加し実施される農道法面の草刈り作業、また、同時に水路泥上・部落内公共施設周辺の草刈作業を手分けして行っている。



農村環境の景観形成・生活環境保全活動事業として、農村環境保全班が主体となり、旧公民館跡地に花壇を設置した。
 4月には、サルビアと百日草、11月にはパンジーの苗を移植し、通行人の笑顔が絶えなかった。



平成25年、中井水路改修工事(水路のパイプ化)が完了したことにより、田畑への春・夏季における水使用とともに通年通水が可能となったことから畑灌施設からの消火用水が常時かつ容易に確保出来ることとなった。
 毎年、大泉新田環境保全会の中井水路・西部水路作業班が水路法面の草刈り及び中井水路取水口と沈砂池の泥上作業を定期的に行っている。